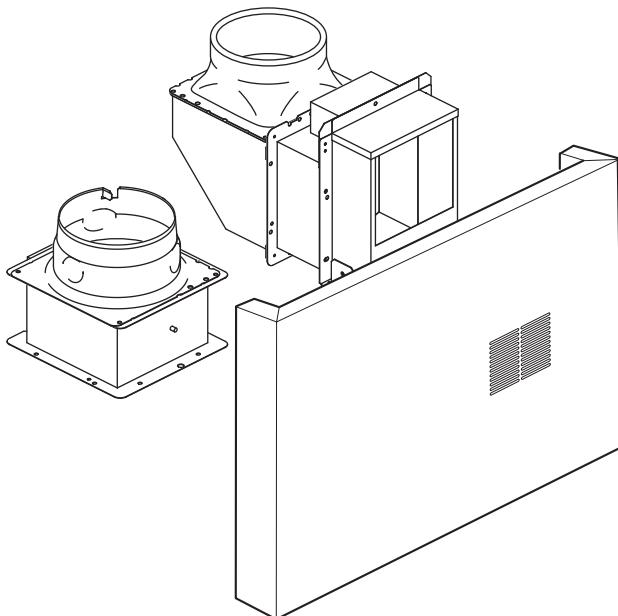


## 工事説明書 同時給排ユニット

	<高さ600用>	<高さ700用>
品番	FY-MS656E	FY-MS666E
	FY-MS756E	FY-MS766E
	FY-MS956E	FY-MS966E



工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に「安全上のご注意」(2ページ) は、施工前に必ずお読みください。

・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

### もくじ

安全上のご注意	2
設置上のお願い	3
各部の名前	3
外形寸法図	4~5
付属品・別売品	6
取り付け前に	7~8
施工方法	9~裏表紙
仕様	裏表紙

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



## 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



## 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



## 警告



仕様変更・改造は絶対にしない

火災・感電・けがの原因になります。



周囲温度が40 °C以上になるところには取り付けない

火災の原因になります。



排気工事をおこなう場合、建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って、施工する

火災など重大な事故の原因になります。

メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製排気ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

漏電した場合、火災の原因になります。

a.c.100 Vで使用する

火災・感電の原因になります。



レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との間を10 cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う

火災などの原因になります。

詳しくは所轄の消防署(庁)に問い合わせてください。

施工の際は、レンジフードの電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る

感電やけがをすることがあります。

配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、必ず電気工事士が確実におこなう

誤った配線工事、ねじり配線や電線のかみこみなどがあると漏電、感電や火災のおそれがあります。

給気シャッター連動用コード、排気シャッター連動用コードはアダプター、ダクトと離して固定する

火災など重大な事故の原因になります。

詳しくは所轄の消防署(庁)に問い合わせてください。



浴室など、湿気の多いところに取り付けない

感電の原因になります。



本体は指定の方法で確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。



部品は確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。



接続するシャッターはそれぞれ5 W以下のものを使用する

火災の原因になります。



本体は、十分強度のあるところに水平にしっかりと取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

取り付け工事の際は、厚手の手袋を使用する

板金部品などの切り口や本体の突起、角などでけがをすることがあります。

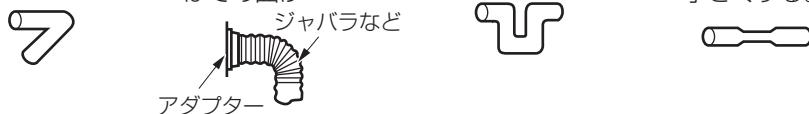
# 設置上のお願い

■全体換気の必要なところは、他の換気扇との併用をおすすめします。

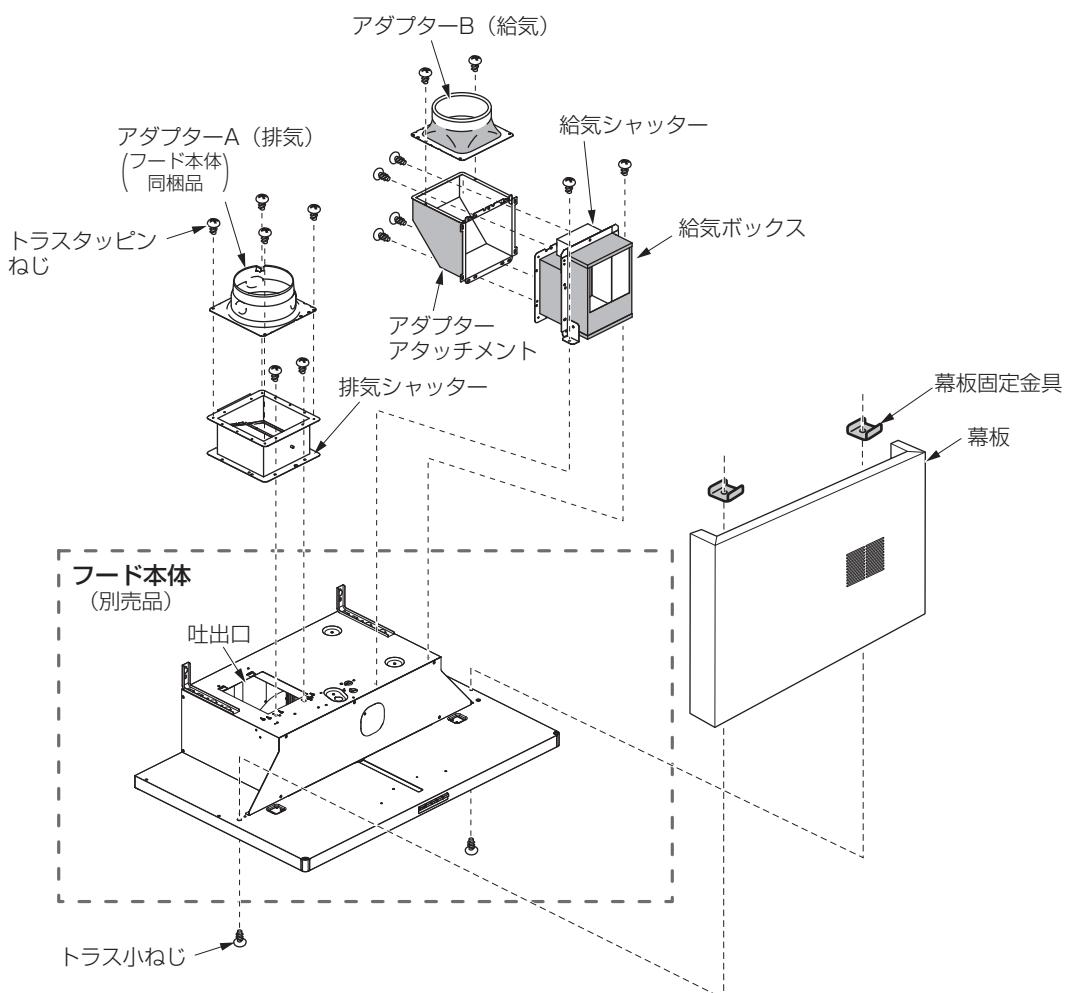
■次のような配管工事はしないでください。

吐出口のすぐそばで曲げると、シャッターが開かなくなり正しく排気されません。

- (1) 極端な曲げ (2) 吐出口のすぐそばでの曲げ (3) 多数回の曲げ (4) 接続ダクト径を小さくする。

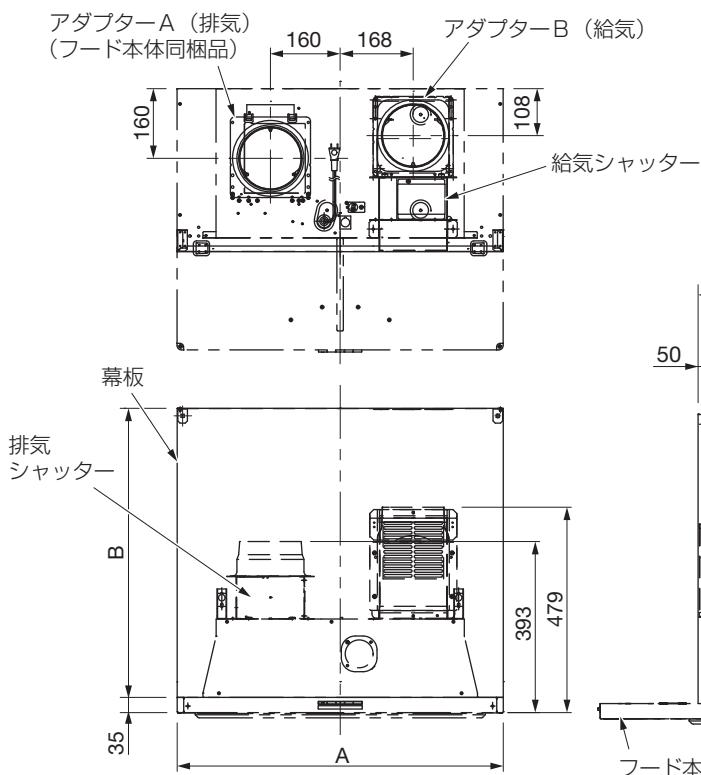


## 各部の名前



# 外形寸法図

## ＜上方排気・給気の場合＞



[単位：mm]

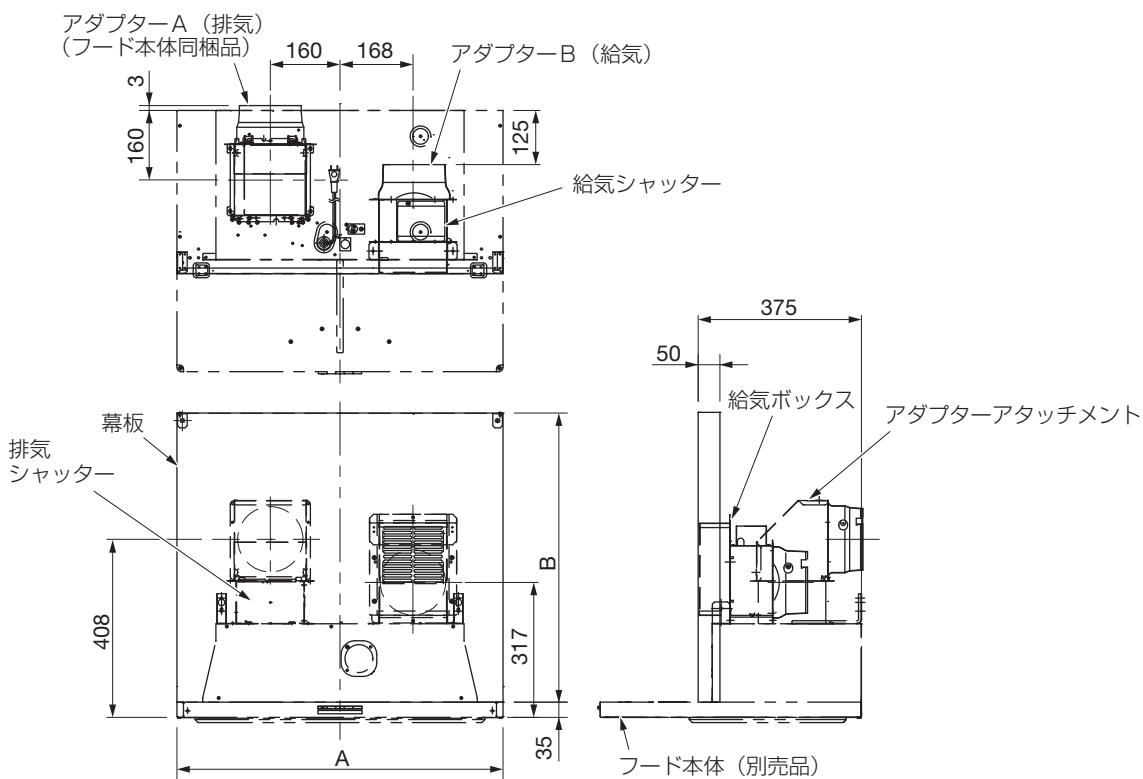
## ■接続ダクト（市販品）

呼び径	種類
φ150 (6番)	鋼板製スパイラルダクト

## ■寸法表

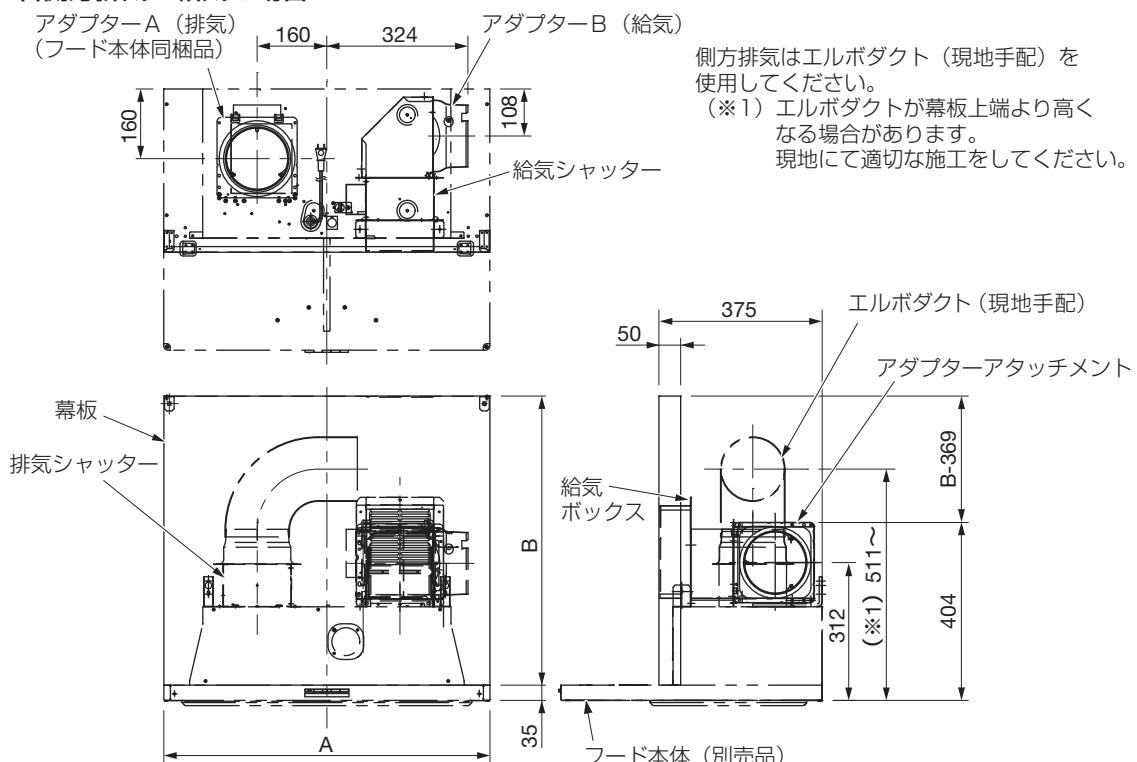
	A	B
FY-MS656E	600	564
FY-MS666E	600	664
FY-MS756E	750	564
FY-MS766E	750	664
FY-MS956E	900	564
FY-MS966E	900	664

## ＜後方排気・給気の場合＞



[単位 : mm]

### <右側方排気・給気の場合>

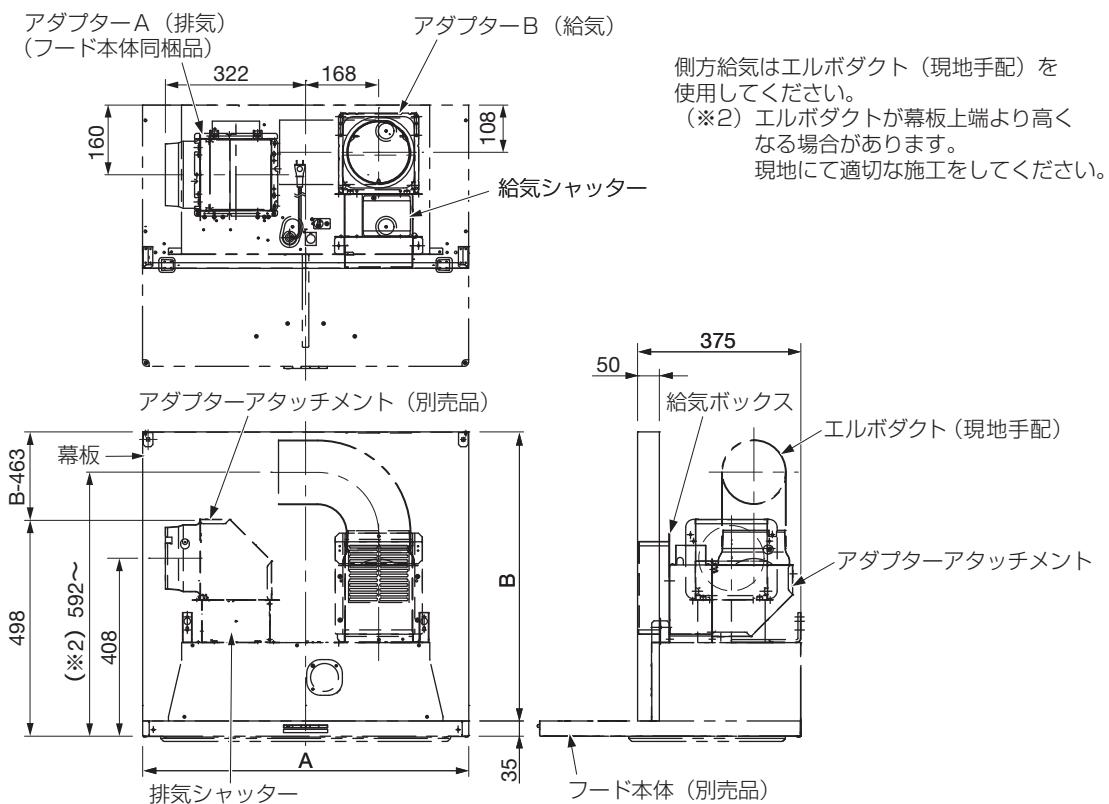


側方排気はエルボダクト（現地手配）を使用してください。

(※1) エルボダクトが幕板上端より高くなる場合があります。

現地にて適切な施工をしてください。

### <左側方排気・給気の場合>



側方給気はエルボダクト（現地手配）を使用してください。

(※2) エルボダクトが幕板上端より高くなる場合があります。

現地にて適切な施工をしてください。

# 付属品・別売品

お願い

この製品専用の付属品あるいは指定のもの  
(別売品)以外は使用しないでください。

## 付属品

- パッキングテープ .....  1個  
(ダクト接続用)

- 調整用パッキングテープ .....  1個  
(黒色)

- トラスタッピンねじ .....  13個  
( $\phi 4 \times 8$ )

※排気方向、給気方向で使用するねじの  
本数が変わります。

- トラスタッピンねじ .....  2個  
( $\phi 4 \times 14$ )

- コードブッシング .....  1個

- コードクリップ .....  1個

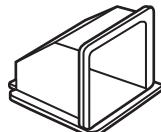
- 補助金具 .....  2個

- トラス小ねじ .....  
(FY-MS756E, FY-MS766E  
FY-MS956E, FY-MS966E の場合)  
( $\phi 5 \times 10$ ) .....  2個  
(FY-MS656E, FY-MS666E の場合)  
( $\phi 4 \times 10$ ) .....  2個

- 幕板固定金具  
(FY-MS756E, FY-MS766E  
FY-MS956E, FY-MS966E の場合)  
.....  2個  
(FY-MS656E, FY-MS666E の場合)  
.....  2個  
●ラッチ .....  2個  
●ストライク .....  2個  
●接続コード .....  1個

## 別売品 詳細についてはカタログを参照してください。

〔アダプターattachメント〕  
(後方排気、左側方排気時)



FY-AS615

〔横幕板〕  
(側面上部をふさぐ場合)



FY-MYC56D  
FY-MYC66D

# 取り付け前に

〔単位：mm〕

## ・ダクト配管について

1. 製品外形寸法図、または下図の吐出穴位置に壁穴をあけてください。
2. 壁穴にφ150のスパイラル管をセットし、周囲を仕上げてください。

上方排気の場合：下図の位置にφ150のスパイラル管をセット

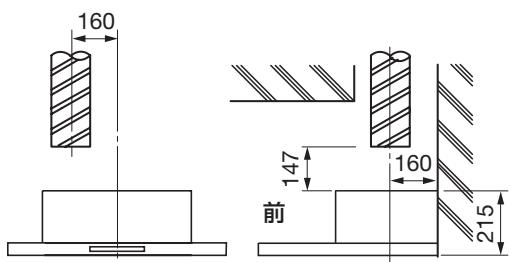
後方排気の場合：アダプターアタッチメントを組み合わせた位置にφ150のスパイラル管をセット

右側方排気の場合：エルボダクト（現地手配）を組み合わせた位置にφ150のスパイラル管をセット

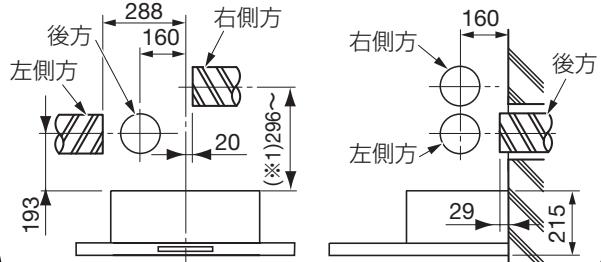
左側方排気の場合：アダプターアタッチメント（別売品）を組み合わせた位置にφ150のスパイラル管をセット

(※1) エルボダクトが幕板より高くなる場合があります。現地にて適切な施工をしてください。

### 上方排気の場合



### 後方・側方排気の場合



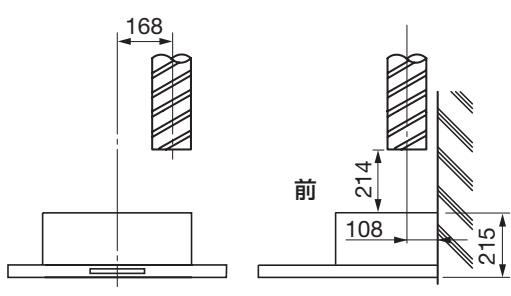
上方給気の場合：アダプターアタッチメントを組み合わせた位置にφ150のスパイラル管をセット  
後方給気の場合：下図の位置にφ150のスパイラル管をセット

右側方給気の場合：アダプターアタッチメントを組み合わせた位置にφ150のスパイラル管をセット

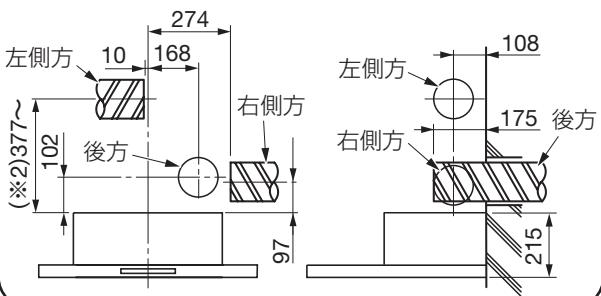
左側方給気の場合：エルボダクト（現地手配）を組み合わせた位置にφ150のスパイラル管をセット

(※2) エルボダクトが幕板より高くなる場合があります。現地にて適切な施工をしてください。

### 上方給気の場合



### 後方・側方給気の場合



# 取り付け前に（続き）

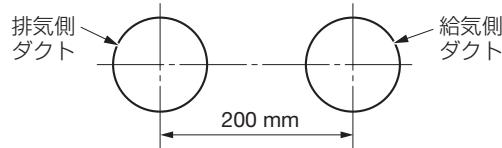
〔単位：mm〕

## お願い

1. 寒冷地などで結露のおそれがある場合は、給気ダクト、排気ダクトに必ず断熱材を巻いてください。
  - ・結露により、機器の損傷や周辺部材の損傷のおそれがあります。
  - ・ダクトスペース上、断熱材の厚みが25 mmを超えるとダクトが取り付けできません。
2. 屋外端末部材は、低圧損タイプ（下記推奨品相当）をご使用ください。
  - ・圧力損失が高い場合、給排気性能が低下したり、運転音が高くなるおそれがあります。

	推奨品番	メーカー
排気側	FY-MCA062	パナソニック エコシステムズ（株）製
給気側		

3. 外壁面の給気・排気ダクト間は、200 mm以上離してください。



3. 後方排気の場合は、下記数値以上の壁厚のところに本体を取り付けてください。

防火ダンパー付きパイプフード使用時	100 mm以上
防火ダンパー無しパイプフード使用時	80 mm以上

※使用するパイプフードによって数値が異なりますので、パイプフードのみ込み寸法を確認してください。

上記数値のパイプフードのみ込み寸法は、下記のとおりです。

防火ダンパー付き：75 mm  
防火ダンパー無し：55 mm

## ・開梱の際は

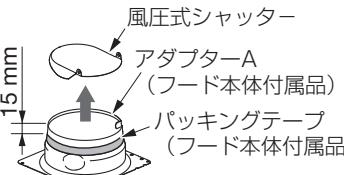
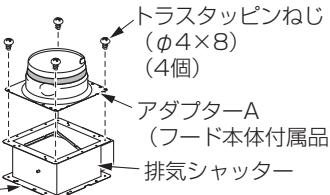
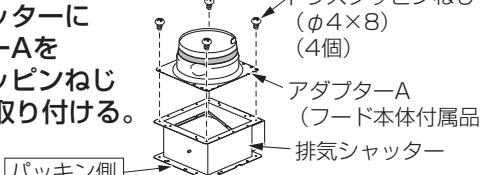
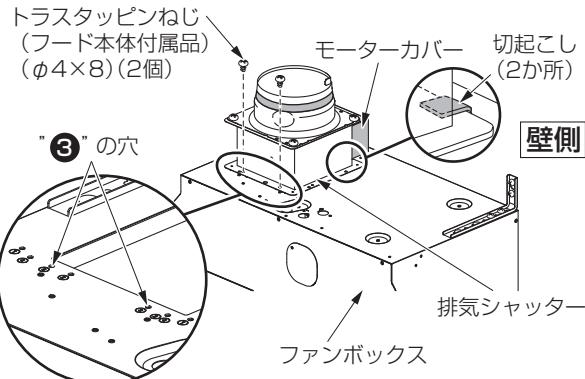
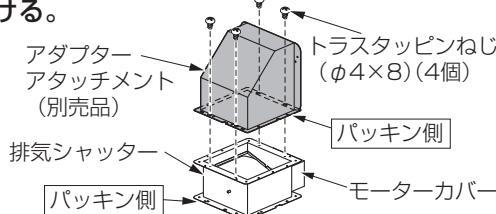
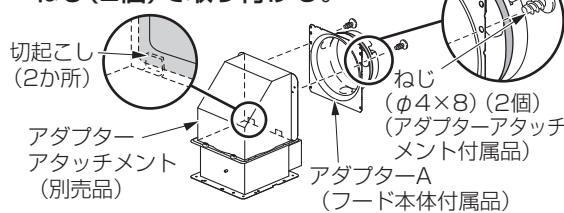
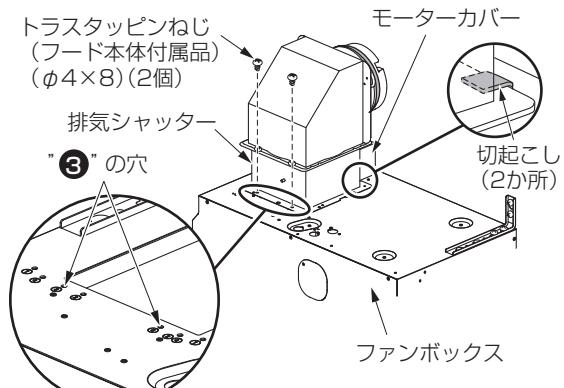
本体に取り付いている包装材（段ボール、テープ）を必ず取りはずしてください。

# 施工方法

フード本体の取り付けはフード本体の工事説明書をご覧ください。

フード本体を壁面に取り付けたあと、同時給排ユニットを取り付けてください。〔単位：mm〕

## 1. 排気シャッターの取り付け

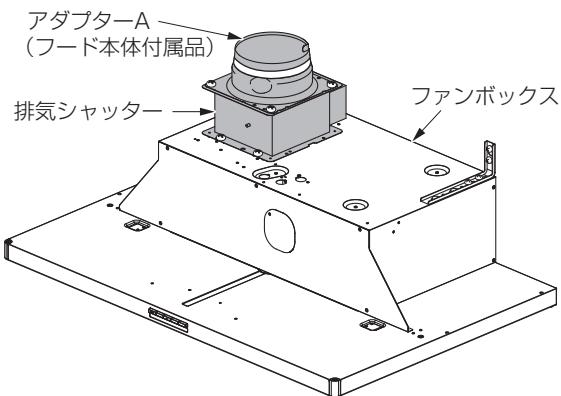
上方排気の場合	後方排気の場合
<p>①アダプターAにパッキングテープを貼る。</p>  <p>②アダプターAの風圧式シャッターを取りはずす。</p>  <p>③排気シャッターにアダプターAをトラスタッピンねじ(4個)で取り付ける。</p>  <p>④排気シャッターをファンボックスの切起こし(2か所)に差し込み、トラスタッピンねじ(2個)で“③”の穴に固定する。</p> <p><b>お願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●排気シャッター取り付け方向に注意する。 排気シャッターは必ずモーターカバーが壁側になるよう取り付けてください。 誤った取り付けかたをされると、排気シャッターが開きません。</li> </ul>  <p>●排気シャッターのシャッターが開閉することを手動で確認する。</p> <p>⑤アダプターAとダクトを接続し、接続した部分にアルミテープ(市販品)を巻きつけ、空気もれを防ぐ。</p>	<p>①上方排気の場合と同様に、アダプターAにパッキングテープを貼り、風圧式シャッターを取りはずす。 (「上方排気の場合」の①～②を参照)</p> <p>②排気シャッターにアダプターアタッチメント(別売品)をトラスタッピンねじ(4個)で取り付ける。</p>  <p>③アダプターAをアダプターアタッチメント(別売品)の切起こし(2か所)に差し込み、アダプターアタッチメントに付属のねじ(2個)で取り付ける。</p>  <p>④排気シャッターをファンボックスの切起こし(2か所)に差し込み、トラスタッピンねじ(2個)で“③”の穴に固定する。</p> <p><b>お願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●排気シャッターの取り付け方向に注意する。 (「上方排気の場合」のお願いを参照)</li> </ul>  <p>⑤アダプターAとダクトを接続し、接続した部分にアルミテープ(市販品)を巻きつけ、空気もれを防ぐ。</p>

# 施工方法 (続き)

## 1. 排気シャッターの取り付け (続き)

### 右側方排気の場合

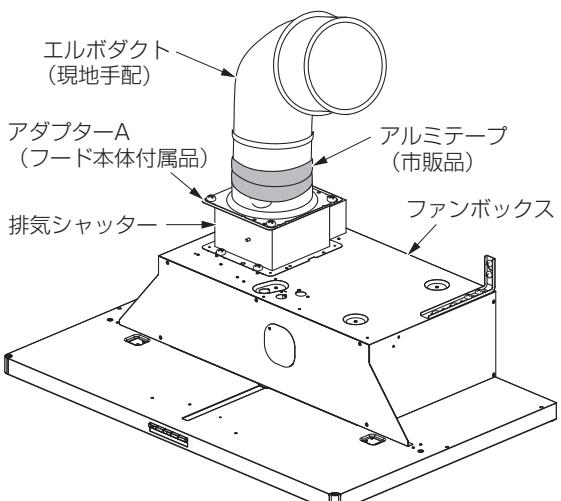
- ①上方排気の場合と同様に、アダプターAと排気シャッターをファンボックスに取り付ける。  
(「上方排気の場合」の①～④を参照)



- ②アダプターAとエルボダクトを開口が右側方になるように接続し、接続した部分にアルミテープ(市販品)を巻きつけ、空気もれを防ぐ。

#### お願い

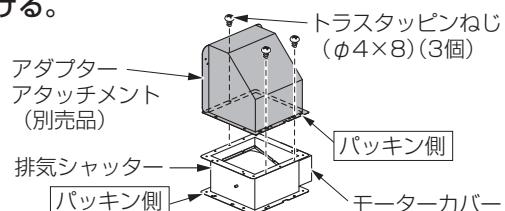
- 排気シャッターの取り付け方向に注意する。  
(「上方排気の場合」のお願いを参照)



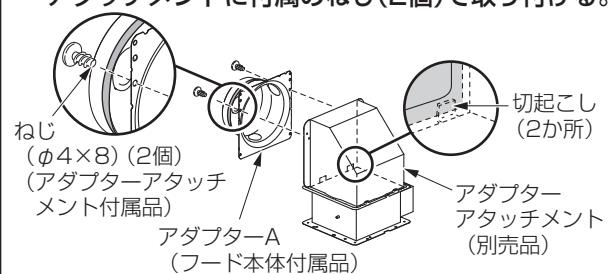
### 左側方排気の場合

- ①上方排気の場合と同様に、アダプターAにパッキングテープを貼り、風圧式シャッターを取りはずす。  
(「上方排気の場合」の①～②を参照)

- ②排気シャッターにアダプターアタッチメント(別売品)をトラスタッピングねじ(3個)で取り付ける。



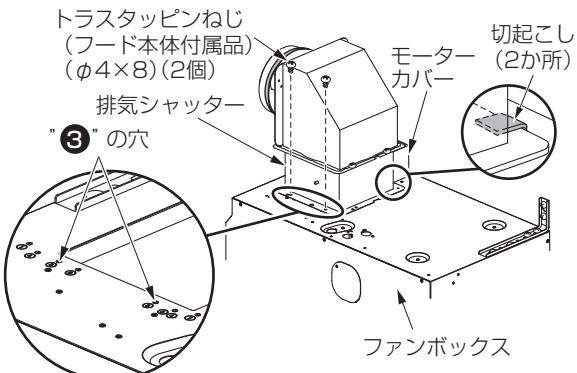
- ③アダプターAをアダプターアタッチメント(別売品)の切起こし(2か所)に差し込み、アダプター アタッチメントに付属のねじ(2個)で取り付ける。



- ④排気シャッターをファンボックスの切起こし(2か所)に差し込み、トラスタッピングねじ(2個)で”③”的穴に固定する。

#### お願い

- 排気シャッターの取り付け方向に注意する。  
(「上方排気の場合」のお願いを参照)



- ⑤アダプターAとダクトを接続し、接続した部分にアルミテープ(市販品)を巻きつけ、空気もれを防ぐ。

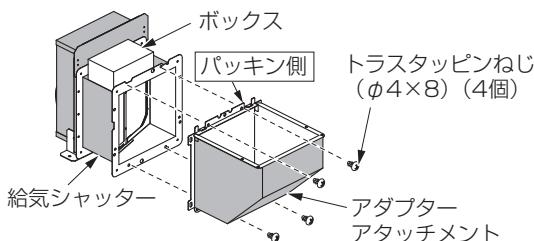
## 2. 給気シャッター・給気ボックスの取り付け

### 上方給気の場合

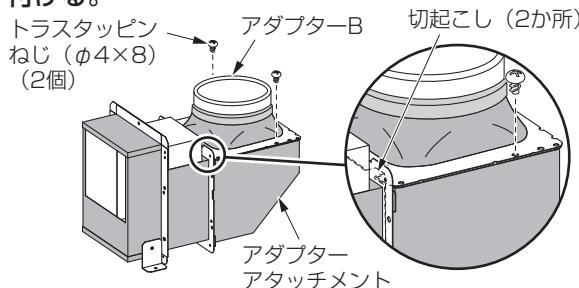
- ①アダプターBにパッキングテープを貼り付ける。



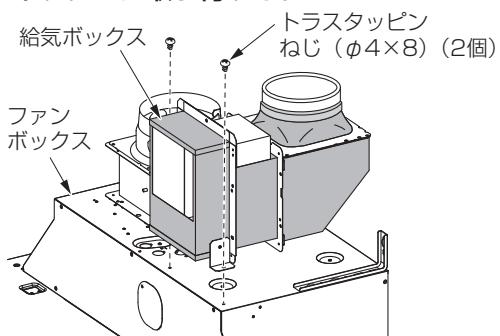
- ②給気シャッターのボックスが下図の位置にあることを確認し、アダプターAタッチメントをトラスタッピンねじ（4個）で取り付ける。



- ③アダプターBをアダプターAタッチメントの切起こし（2か所）に差し込み、トラスタッピンねじ（2個）でアダプターAタッチメントに取り付ける。



- ④給気ボックスをトラスタッピンねじ（2個）でファンボックスに取り付ける。



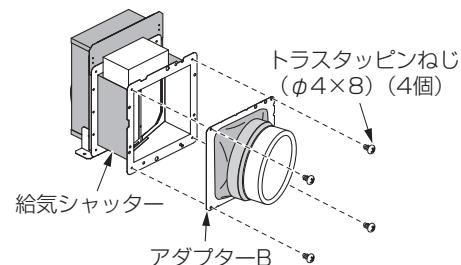
- ⑤アダプターBとダクトを接続し、接続した部分にアルミテープ（市販品）を巻きつけ、空気もれを防ぐ。

### 後方給気の場合

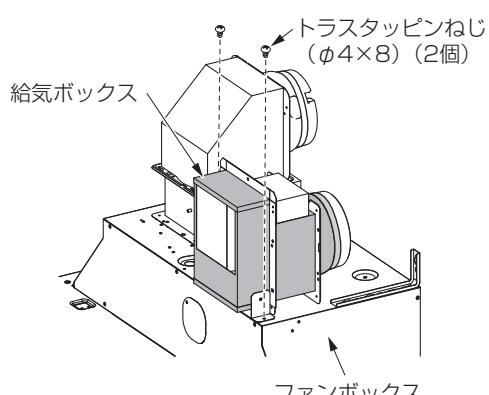
- ①アダプターBにパッキングテープを貼り付ける。



- ②アダプターBをトラスタッピンねじ（4個）で給気シャッターに取り付ける。



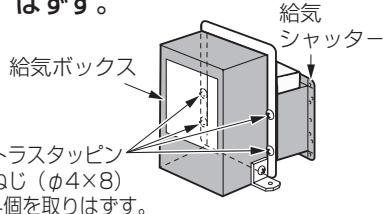
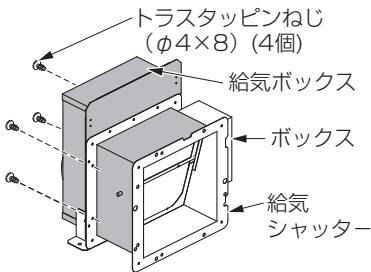
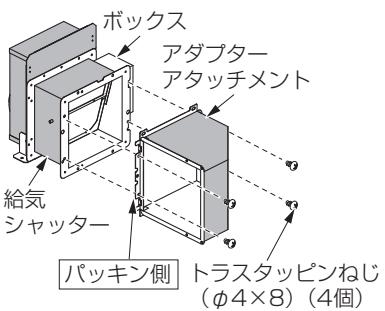
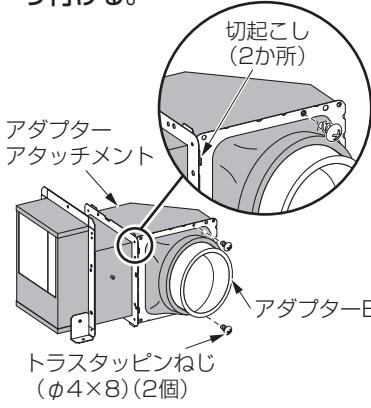
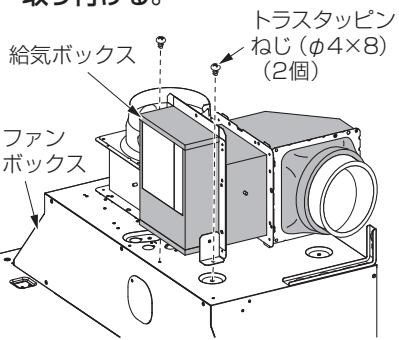
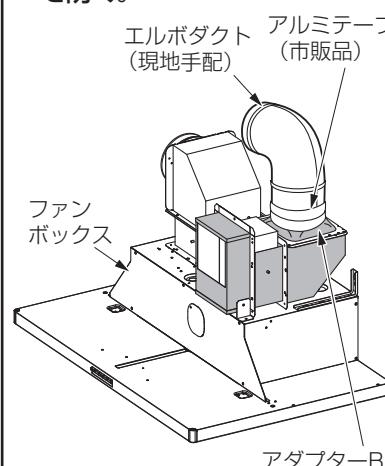
- ③給気ボックスをトラスタッピンねじ（2個）でファンボックスに取り付ける。



- ④アダプターBとダクトを接続し、アルミテープ（市販品）を巻く。

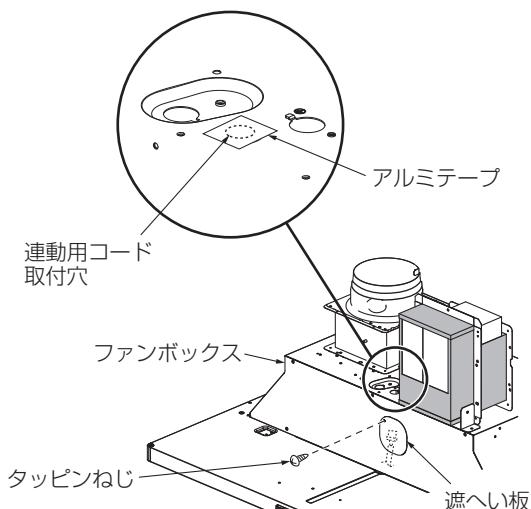
# 施工方法 (続き)

## 2. 給気シャッター・給気ボックスの取り付け (続き)

右側方給気の場合	左側方給気の場合
<p>①アダプターBにパッキングテープを貼り付ける。</p>  <p>アダプターB パッキングテープ 15 mm</p> <p>②給気ボックスに給気シャッターを固定しているトラスタッピンねじ (<math>\phi 4 \times 8</math>) 4個を取りはずす。</p>  <p>給気ボックス 給気シャッター トラスタッピンねじ (<math>\phi 4 \times 8</math>) 4個を取りはずす。</p> <p>③ボックスが下図の位置になるように給気シャッターの向きを変え、取りはずしたトラスタッピンねじ (<math>\phi 4 \times 8</math>) 4個で取り付ける。</p>  <p>トラスタッピンねじ (<math>\phi 4 \times 8</math>) (4個) 給気ボックス ボックス 給気シャッター</p> <p>④給気シャッターにアダプター・アタッチメントをトラスタッピンねじ (4個) で取り付ける。</p>  <p>ボックス アダプター・アタッチメント 給気シャッター パッキン側 トラスタッピンねじ (<math>\phi 4 \times 8</math>) (4個)</p> <p>⑤アダプターBをアダプター・アタッチメントの切起こし (2か所) に差し込み、トラスタッピンねじ (2個) でアダプター・アタッチメントに取り付ける。</p>  <p>アダプター・アタッチメント 切起こし (2か所) アダプターB トラスタッピンねじ (<math>\phi 4 \times 8</math>) (2個)</p> <p>⑥給気ボックスをトラスタッピンねじ (2個) でファンボックスに取り付ける。</p>  <p>給気ボックス ファンボックス トラスタッピンねじ (<math>\phi 4 \times 8</math>) (2個)</p> <p>⑦アダプターBとダクトを接続し、接続した部分にアルミテープ (市販品) を巻きつけ、空気もれを防ぐ。</p>  <p>エルボダクト (現地手配) アルミテープ (市販品) ファンボックス アダプターB</p>	

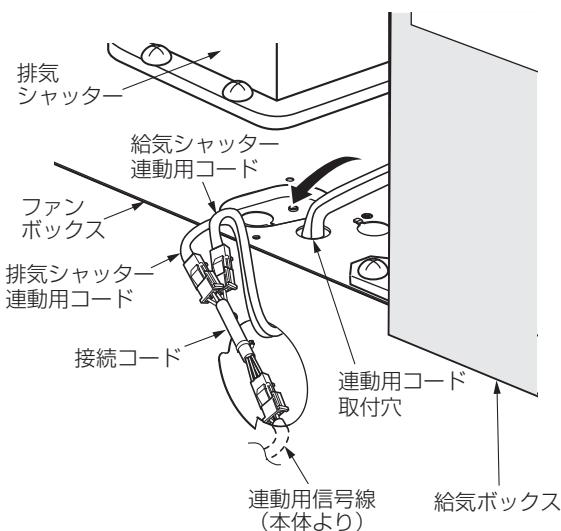
### 3.信号線の接続

- ①タッピンねじをはずし、遮へい板を取りはずす。  
②ファンボックスの運動用コード取付穴のアルミテープをはがす。



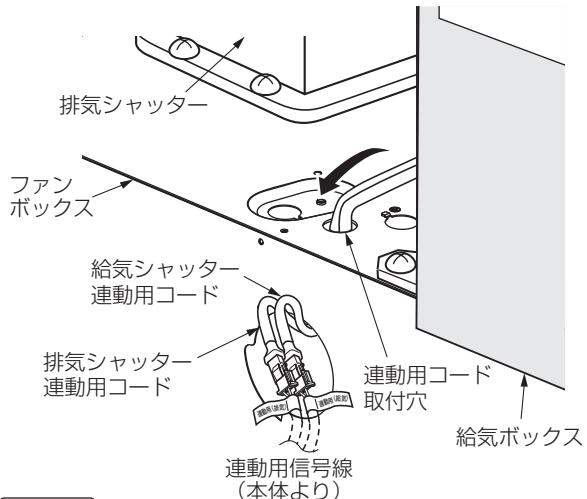
#### 【運動用信号線が1本の場合】

- ③付属の接続コードを運動用信号線に取り付け、排気シャッター運動用コードと給気シャッター運動用コードを運動用コード取付穴に外側から通し、接続コードとそれぞれ結線する。



#### 【運動用信号線が2本の場合】

- ③排気シャッター運動用コードと給気シャッター運動用コードを運動用コード取付穴に外側から通し、運動用信号線とそれぞれ結線する。  
(付属の接続コードは使用しません)



#### お願い

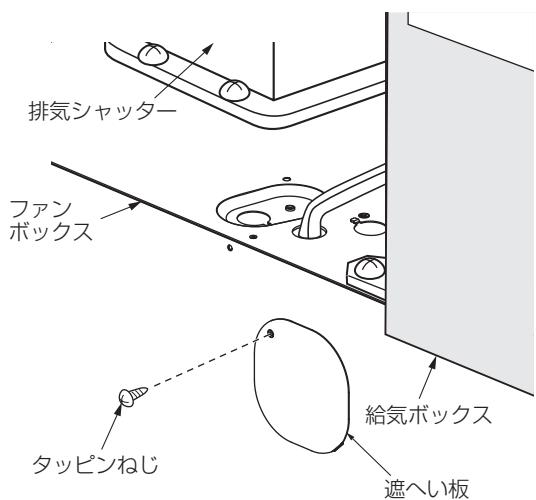
- 運動用信号線のラベル表示を確認し、正しく接続する。

運動用信号線

**運動用（排気）** ←→ 排気シャッター運動用コード

**運動用（給気）** ←→ 給気シャッター運動用コード

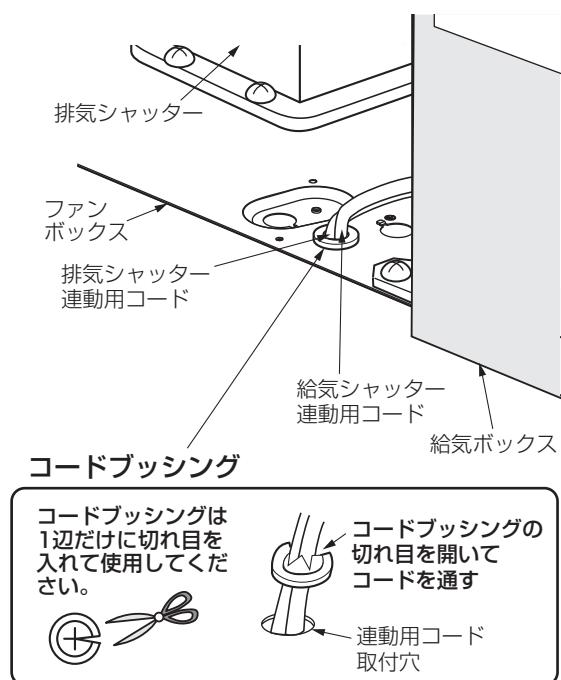
- ④接続したコードをファンボックス内部に納め、遮へい板を①ではずしたタッピンねじ（1個）で固定する。



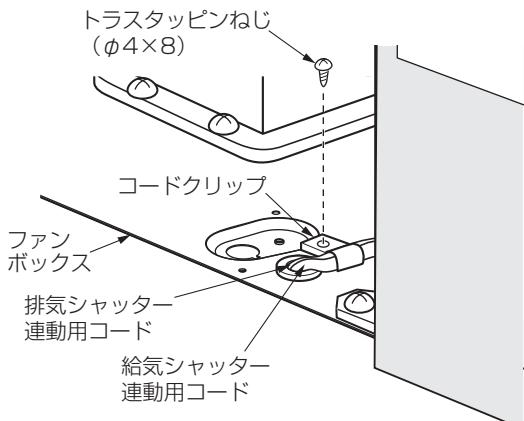
# 施工方法 (続き)

## 3.信号線の接続 (続き)

- ⑤排気シャッター連動用コードと給気シャッター連動用コードに付属のコードブッシングを通し、連動用コード取付穴に固定する。



- ⑥排気シャッター連動用コードと給気シャッター連動用コードを付属のコードクリップで固定する。



### 警告



給気シャッター連動用コード、排気シャッター連動用コードはアダプター、ダクトと離して固定する

火災など重大な事故の原因になります。  
詳しくは所轄の消防署(庁)に問い合わせてください。

### 注意



接続するシャッターはそれぞれ5W以下のものを使用する

火災の原因になります。

- フード本体の電源プラグをコンセントに差し込み、フード本体の操作スイッチを入れ、下記のように動作するか確認してください。

#### 【連動用信号線が1本の場合】

風量ボタン	排気シャッター	給気シャッター	チェック
弱	開く	開く	
中	開く	開く	
強	開く	開く	

#### 【連動用信号線が2本の場合】

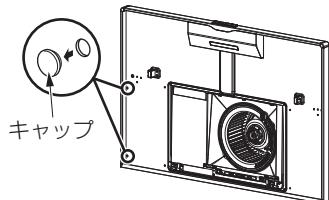
風量ボタン	排気シャッター	給気シャッター	チェック
常時	開く	開かない	
弱	開く	開く	
強	開く	開く	

## 4. 幕板の取り付け

### 横幕板(別売品)の取り付け

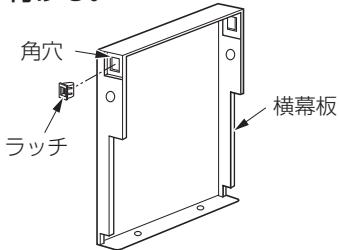
横幕板を取り付けない場合は、以下の手順は不要です。

- ① 横幕板取り付け側のキャップをはずす。

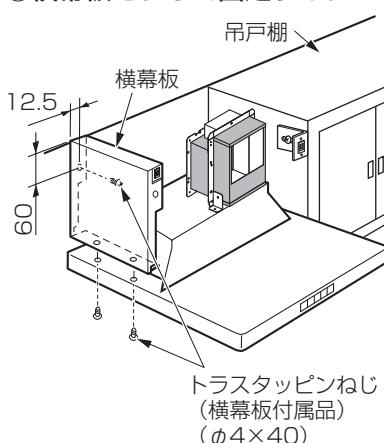


- ② 横幕板の表面に貼っているフィルム状の保護シートをはがす。

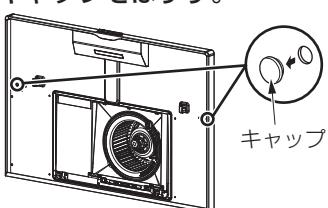
- ③ 横幕板の角穴にラッチを取り付ける。



- ④ 横幕板をねじで固定する。

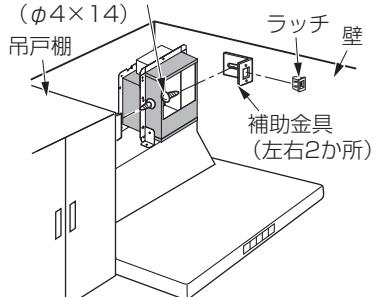


- ① キャップをはずす。

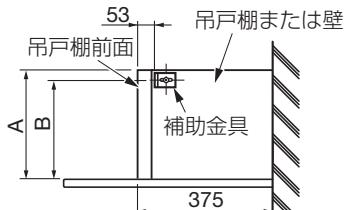


- ② 補助金具にラッチを取り付け、左右の吊戸棚または壁にトラスタッピングねじで固定する。  
(補助金具取付面とフード本体側の側面を合わせて取り付ける)

※横幕板を取り付ける側は不要です。  
トラスタッピングねじ  
(φ4×14)



補助金具取付位置



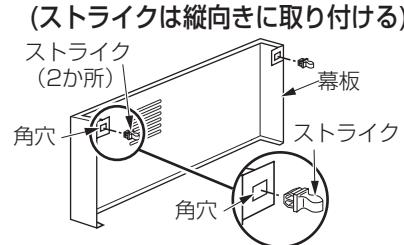
A	B
664	646.5
564	546.5

※給気ボックスと幕板にすき間があく場合、調整用パッキングテープを給気ボックスに貼り付け、すき間があかないようにする。

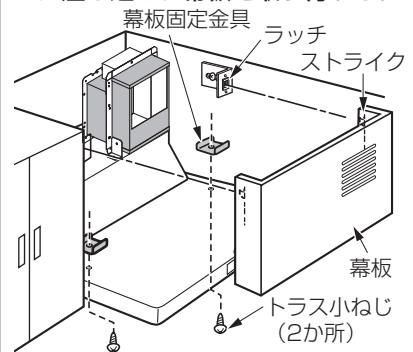
- ③ 幕板の表面に貼っているフィルム状の保護シートをはがす。

### 幕板の取り付け

- ④ 幕板裏面の角穴にストライクを取り付ける。  
(ストライクは縦向きに取り付ける)



- ⑤ フード本体内側より幕板固定金具(2個)をトラス小ねじで仮止めし、幕板のストライクを「パチン」と音がするまでラッチに差しこみ、幕板を取り付ける。



**【750、900幅の場合】**

折り曲げ部を前方にする。  
3 mm~5 mm  
余裕をあける。

**【600幅の場合】**  
ねじ穴からの距離が長い折り曲げ部を前方にする。  
3 mm~5 mm  
余裕をあける。

- ⑥ 幕板固定金具とフード天面の間に幕板を前方から入れ、トラス小ねじを締め付ける。



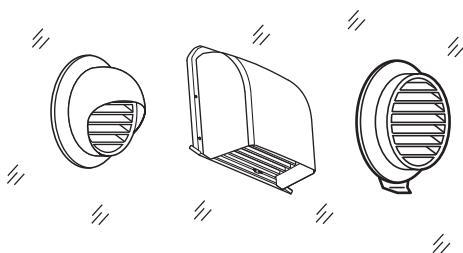
**【750、900幅の場合】**  
幕板を前方より入れる。  
締め付ける。フード本体

**【600幅の場合】**  
幕板を前方より入れる。  
締め付ける。フード本体  
※整流板をはずして作業する。

# 施工方法 (続き)

## 5.外壁面の施工

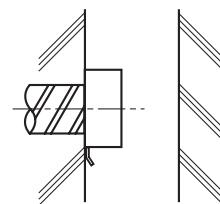
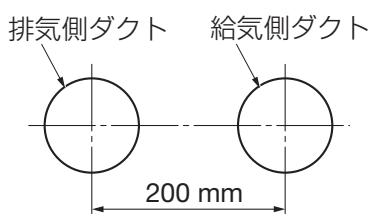
- 外壁面には、パイプフードまたはベントキャップを現場にて調達し、付属の工事説明書にしたがって取り付けてください。



## 6.動作確認

### お願い

- 運転終了直後に風きり音が発生することがあります。故障ではありません。  
シャッターが閉まるとき空気の通路が狭くなるために起こる音です。異常ではありません。
- 外壁面の給気・排気ダクト間は、200 mm以上離してください。  
●給気・排気ダクトは、隣接する壁面から離してください。



# 仕様

電源 a.c.100 V 50/60 Hz

消費電力

	排気シャッター	給気シャッター
動作時	4.5 W以下	4.5 W以下
開放時	1 W	1 W

パナソニック株式会社

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番 TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2022

MSH756421 D2-P0422-0